

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植の後方視的検討		
② 実施予定期間	実施許可後 から 2026年3月31日		
③ 対象患者	研究対象とする期間に当院第三内科で骨髄異形成症候群に対して同種造血幹細胞移植を受けられた患者さん		
④ 対象期間	研究対象とする期間として2001年1月1日から2020年12月31日までに同種造血幹細胞移植を行った患者さんの情報を、追跡期間として2022年8月31日まで収集します		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	第三内科		
⑦ 研究責任者	氏名	中邑幸伸	所属 第三内科・輸血部
⑧ 使用する情報等	<p>研究対象者背景：識別コード、性別、血液型、診断から移植までの日数、骨髄異形成症候群の病期、骨髄異形成症候群に対する治療歴、移植時の骨髄異形成症候群の状態、移植時年齢、移植時パフォーマンスステータス、移植時合併症</p> <p>ドナー背景：性別、血液型、患者さんとの関係性</p> <p>移植方法：移植日、幹細胞源、移植前処置、移植片対宿主病予防</p> <p>予後・転帰：好中球生着、急性移植片対宿主病、慢性移植片対宿主病、再発、非再発死亡、最終転帰、死因</p>		
⑨ 研究の概要	<p>骨髄異形成症候群は難治性の造血器悪性疾患であり、無効造血による血球減少と血液細胞の白血病化が病態の中心です。骨髄異形成症候群を唯一治療させることができるのは同種造血幹細胞移植であり、この移植治療には様々な方法がありますが、骨髄異形成症候群に対する至適な移植方法は確立していません。そこで本研究では、山口大学医学部附属病院第三内科において骨髄異形成症候群に対して同種造血幹細胞移植を行った患者さんの臨床情報を振り返って統計解析を行い、骨髄異形成症候群に対する至適な移植方法を見出し、移植成績の向上に寄与することを目的として実施します。</p>		
⑩ 実施許可	実施許可日	2022年12月12日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	<p>研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。</p> <p>詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。</p>		

⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学講座の奨学寄附金		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 第三内科・輸血部 担当者：中邑幸伸		
	電話	0836-22-2251	FAX 0836-22-2342